

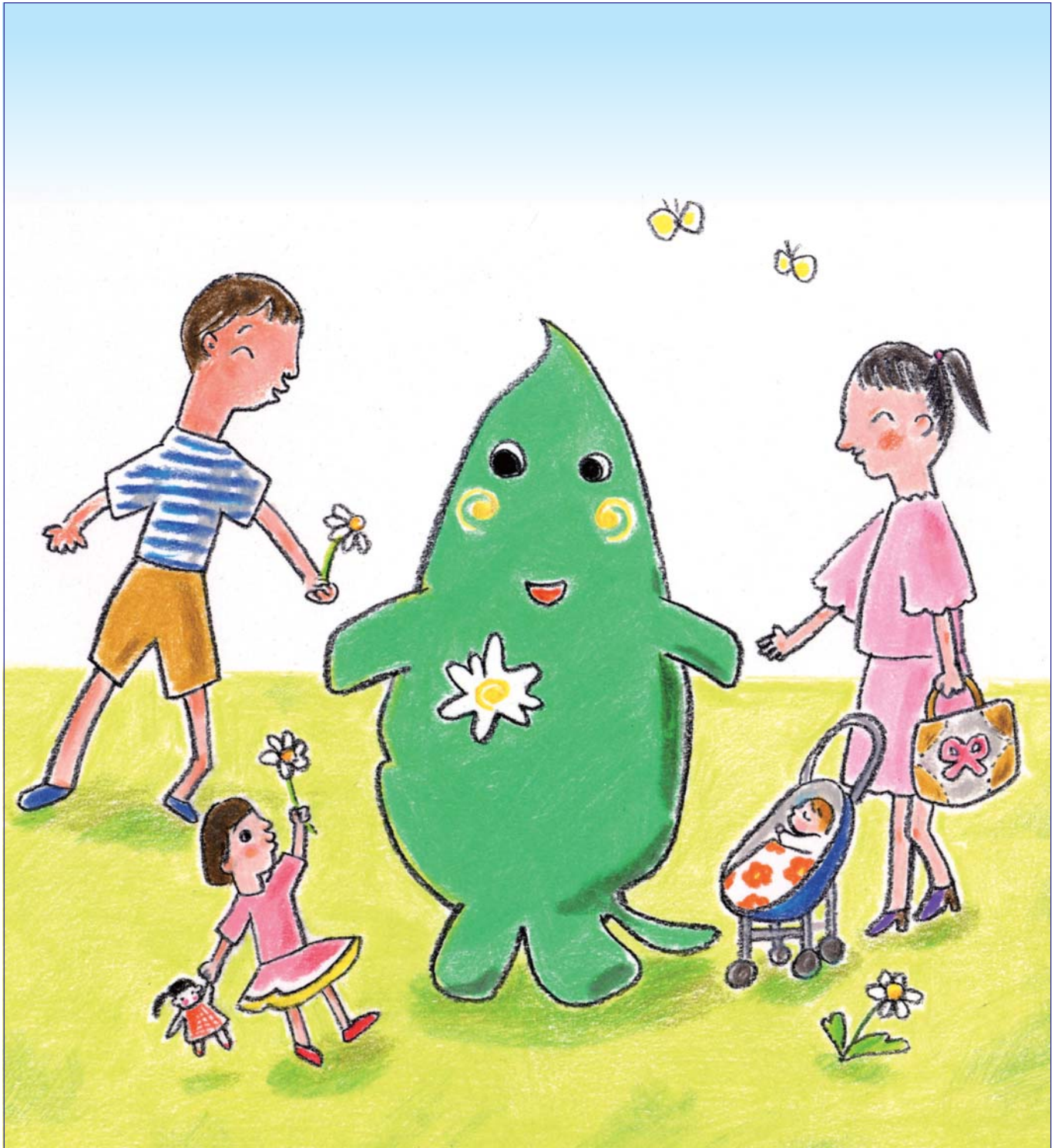
だいじ
第8次

やまと し そうごう けい かく
大和市総合計画

ばん
ダイジェスト版

Japanese
with ruby
にほんご
日本語ルビ

けん こう そう と
健康創造都市 やまと



こう き き ほん けい かく
後期基本計画 (へいせい 26 ~ 30 ねんど)
(平成 26 ~ 30 年度)

「健康創造都市 やまと」の 実現に向けて



本市では、平成21年に第8次大和市総合計画を策定し、「健康創造都市 やまと」の実現に向け、様々な取り組みを展開してまいりました。この総合計画における施策の基本的な方向を表す基本計画については、前期の計画期間が平成25年度で終了することから、この度、平成26年度から30年度までを計画期間とする後期基本計画を策定いたしました。

全国的に高齢化が進み、本市においても、人口に占める65歳以上の割合が21パーセントを超える超高齢社会を迎え、また、少子化傾向が続く中で、市民のニーズは多様化しており、基礎自治体として果たすべき役割がますます大きくなってきています。厳しい財政状況にあっても、生活に身近な課題に対応しながら行政サービスを確実に提供していくためには、一層効果的な市政運営を行っていく必要があります。

後期基本計画は、健康創造都市の実現に向け、「人の健康」、「まちの健康」、「社会の健康」に関する取り組みをこれまで以上に加速していくため、より具体的で、実行性のある内容として策定いたしました。今後は、この後期基本計画を基に、誰もが都市全体の健康を実感することのできるまちづくりをさらに進めてまいります。

おわりに、後期基本計画の策定にあたってご尽力を賜りました総合計画審議会委員の皆様や、意識調査へのご協力をはじめ市民討議会、意見交換会にご参加いただきました多くの市民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

平成25年 12月

大和市長 大木 哲

だいじ
第8次

やまと し そうごう けい かく
大和市総合計画

ばん
ダイジェスト版

Japanese
with ruby
にほんご
日本語ルビ

けんこう さいぞう とうし やまと 健康創造都市 やまと

こう き き ほん けい かく
後期基本計画 (平成 26 ~ 30 年度)



このダイジェスト版は、「第8次大和市総合計画 後期基本計画」に基づいて進めていくまちづくりについて、具体的な取り組みを掲出し、より分かりやすく再編集したものです。

詳しい内容については、後期基本計画書及び実施計画書をご覧ください。

もくじ 目次

しょうらい とし ぞう 将来都市像と3つの健康領域 総合計画の体系	4 5
ひとの健康 基本目標 1 一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち	6
基本目標 2 子どもが生き生きと育つまち	8
まちの健康 基本目標 3 安全と安心が感じられるまち	10
基本目標 4 環境を守り育てるまち	12
基本目標 5 快適な都市空間が整うまち	14
社会の健康 基本目標 6 豊かな心を育むまち	16
基本目標 7 市民の活力があふれるまち	18
目標の実現に向けて	20
総合計画の構成と期間	22
大和市のデータ	23

将来都市像と 3つの健康領域

市民が心身ともに健康で幸せに暮らすことができるまちとなるために、大和市は「健康創造都市 やまと」を目指します。この将来都市像の実現に向けた市政の基本的な考え方として、「人」、「まち」、「社会」の3つの健康領域を掲げ、その具現化を図っていきます。

3つの健康領域

人の健康

心身ともに健康で、また、なんらかの障がいなどであっても、元気で生き生きとした暮らしを営むことができる市民を増やそうという健康の領域です。

この領域では、「一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち」、「子どもが生き生きと育つまち」を基本目標として掲げ、「人の健康」づくりを推進します。

まちの健康

生活や活動の場であるまちに着目し、市民の安全で快適な生活を阻害するまちの中の要因を取り除き、良好な都市空間を整えていこうという健康の領域です。

この領域では、「安全と安心が感じられるまち」、「環境を守り育てるまち」、「快適な都市空間が整うまち」を基本目標として掲げ、「まちの健康」づくりを推進します。

社会の健康

人と人とのつながりが創り出すコミュニティを充実させながら、互いに認め合う豊かな人間関係を育み、活力に満ちた地域社会を築いていこうという健康の領域です。

この領域では、「豊かな心を育むまち」、「市民の活力があふれるまち」を基本目標として掲げ、「社会の健康」づくりを推進します。

「健康創造都市」とは

健康の観点から「人」、「まち」、「社会」が互いにかかわりあい、健やかで豊かな生活をもたらす都市です。

将来都市像 「健康創造都市 やまと」

ひと の健康

- 基本目標 1** 一人ひとりがいつまでも
元気でいられるまち
- 個別目標 1-1 心身の健康を維持・増進する
個別目標 1-2 いつでも必要な医療が受けられる
個別目標 1-3 高齢者や障がい者への支援を充実する
個別目標 1-4 助け合う福祉のしくみづくりを推進する

- 基本目標 2** 子どもが生き生きと育つまち
- 個別目標 2-1 子どもの健康と安全を守る
個別目標 2-2 子どもの生きる力を育む
個別目標 2-3 子どもを産み育てやすい環境をつくる

まち の健康

- 基本目標 3** 安全と安心が感じられるまち
- 個別目標 3-1 災害への対応力を高める
個別目標 3-2 生活の安全性を高める
個別目標 3-3 航空機による被害を解消する

- 基本目標 4** 環境を守り育てるまち
- 個別目標 4-1 地球にやさしく活動する
個別目標 4-2 水や空気をきれいにする
個別目標 4-3 まちの緑を豊かにする

- 基本目標 5** 快適な都市空間が整うまち
- 個別目標 5-1 快適な都市の基盤をつくる
個別目標 5-2 移動しやすい都市をつくる

社会 の健康

- 基本目標 6** 豊かな心を育むまち
- 個別目標 6-1 いつでも学べる場と機会を充実する
個別目標 6-2 地域のスポーツ活動を推進する
個別目標 6-3 大和の文化を守り育てる

- 基本目標 7** 市民の活力があふれるまち
- 個別目標 7-1 互いに認め合う社会をつくる
個別目標 7-2 にぎわいのある地域をつくる
個別目標 7-3 地域活動・市民活動を活発にする

目標の実現に向けて

方針1 分かりやすい 行政経営

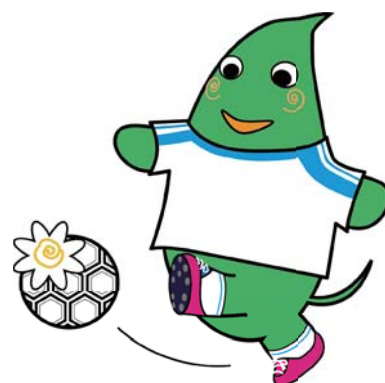
- (1) 相互理解に基づく行政経営
- (2) 目標設定による行政経営

方針2 即応性の高い 行政経営

- (1) 健全な財政運営
- (2) 機能的な組織づくり
- (3) 公共施設・公有資産の適正管理

方針3 人財を活かした 行政経営

- (1) 職員の能力向上
- (2) 職員の意欲を高める職員配置



やまと市イベントキャラクター「ヤマトン」

基本目標

1

一人ひとりがいつまでも 元気でいられるまち

高齢者の人口が急速に増加し、また、長寿化が進む中で、人々の健康志向が高まっています。その一方で、食生活や生活環境の変化により生活習慣病を抱えたり、生活の中の様々なストレスから心身のバランスを崩してしまったりする人が増えています。

市民一人ひとりが元気に暮らしていくためには、主体的に健康づくりに取り組む意識をもつことが重要です。

大和市は、一人ひとりが心身の健康を保つことができるよう様々な支援を行うとともに、病気やけがをしたときには、安心して医療を受けられる環境を整えていきます。

また、困ったときに助け合う仕組みや、必要に応じて公的サービスを利用できる制度が整っているなど、誰もが地域の中で充実した生活を送ることのできる環境づくりにも取り組んでいます。

大和市は「健康創造都市」の実現に向けて、一人ひとりがいつまでも元気でいられるまちづくりを推進します。



ここに注目

保健師、管理栄養士が
個別訪問を進めています



糖尿病、高血圧など生活習慣病の発症予防、重症化予防、介護予防のために、保健師や管理栄養士が個別にお宅を訪問しています。顔を合わせて、その人に合った方法を一緒に考えることで、自分自身で健康づくりができるよう支援しています。

保健師や管理栄養士が、地域に積極的に出向くことで、人と人をつなぎ、地域ぐるみの健康づくりの取り組みになっていくことを目指しています。

ここに注目

市立病院の機能強化を
進めています

市立病院は地域の基幹病院としての役割を積極的に果たし、いざというときに市民が安心して医療サービスを受けられるよう各種診療機能の強化に取り組んでいます。

平成24年度に着工し平成26年4月から全面稼働する増築棟の完成により、小児救急を含めた救急医療機能が強化されるとともに、化学療法室、内視鏡室が拡充され、県央地区唯一の地域がん診療連携拠点病院として積極的にがん治療を実施していくための体制が整備されます。



市立病院の増築棟（手前）

個別目標 1-1 心身の健康を維持・増進する

めざす成果 1 市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる

健康づくり普及啓発事業、健康相談・教育事業、食生活改善支援事業、健康診査事業など

めざす成果 2 心身の健康を維持・増進するための体制が整っている

予防接種事業、感染症予防事業、自殺対策事業など

個別目標 1-2 いつでも必要な医療が受けられる

めざす成果 1 いざというときに診療を受けられる

休日夜間急患診療所運営事業、救急医療情報活用事業など

めざす成果 2 市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている

市立病院運営事業

個別目標 1-3 高齢者や障がい者への支援を充実する

めざす成果 1 高齢者が生き生きと暮らしている

包括的支援事業、高齢者一次予防事業、高齢者見守り事業など

めざす成果 2 必要な介護サービスの支援が受けられる

介護保険事業者指定・指導等事業、老人福祉施設建設等支援事業、要介護認定事業など

めざす成果 3 障がい者が地域の中で自立した生活を送っている

地域生活援助事業、施設通所事業、在宅重度障がい者サポート事業など

個別目標 1-4 助け合う福祉のしくみづくりを推進する

めざす成果 1 お互いに助け合う地域の関係ができています

民生委員児童委員活動支援事業、社会福祉協議会運営支援事業など

めざす成果 2 社会保障のしくみが安定的に維持されている

保険給付事業（国保）、特定健康診査事業、生活保護事業など

ここに注目 口腔ケアで病氣予防

歯や口腔の病氣が生活習慣病と深い関わりがあることをご存じですか。歯がなくなると、よく噛めなくなったり、しゃべりにくくなったりすることはよく知られていますが、最近では、歯周病の原因となる細菌が、糖尿病などの生活習慣病を悪化させることも分かっています。市では、市民の皆さんの健康を守るために、大和市歯及び口腔の健康づくり推進条例を制定し、生涯にわたる歯と口腔の健康づくりに力を入れていきます。



日本歯科医師会PRキャラクター
よ坊さんとヤマトン

ここに注目 介護予防ポイントでいつまでも元気に

市では、65歳以上の方々の社会参加や生きがいづくりなど、介護予防を推進するため、特別養護老人ホームなどのお手伝い等の活動にポイントを付与し、ポイントを現金化することができる、介護予防ポイント事業を平成25年7月からスタートしました。以前から施設でお手伝いをしていらっしゃる方からは、「長く続ける励みになる。」という意見や、新たに参加した方からは、「生活に充実感がでた。」などという声をいただいています。



施設の植物の手入れをする参加者の皆さん

皆さんも、是非この事業に参加してみてください。

子どもが生き生きと 育つまち

近年、全国的に少子化が進んでいます。このことは、これまで若い世代が多いとされてきた大和市においても同様です。

核家族化や地域コミュニティの希薄化などが進み、家庭における子育ての力の低下が指摘されています。家庭だけでなく地域全体で子どもの心身の健康と安全を守る取り組みを進め、子どもの健全な成長を支えていくことが大切です。

様々な生活経験や自然体験をする機会が減少している中で、子どもの生きる力が低下しているといわれています。

大和市は、家庭や地域、学校、関係機関と連携を図りながら、子どもの個性を伸ばし、可能性を広げる教育と、様々な体験の場を提供することによって、子どもが夢や目標をもって着実に成長できる環境をつくっていきます。

また、子育て中の家庭の孤立感や不安感を解消するために、多方面からの支援を行い、安心して子育てができる環境を整備していきます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、発達に応じたきめ細かな施策を展開し、子どもが生き生きと育つまちづくりを推進します。



ここに注目

未来へはばたけ！ 「夢の教室」

市では、平成25年に公益財団法人日本サッカー協会（JFA）と協定を結び、市立小学校19校の5年生全クラス対象の「夢の教室」を実施しています。この教室では、子どもたちがキラキラと輝く夢を持つためのきっかけ作りとなるように、Jリーグやなでしこリーグを中心としたスポーツの現役選手、OB・OGなどが「夢先生」となり、講義や実技を通じて、子どもたちに「夢を持つことの大切さ」「夢に向かって努力することの大切さ」などを伝えています。自治体が同協会と協定を結び、市の事業として実施するのは県内初であり、実施クラス数は全国最大規模となります。



「夢先生」の一人
サッカー
元日本代表
城彰二氏

ここに注目

小・中学校の学校図書館が 生まれ変わりました

新しくなった学校図書館をご存じですか。市では、全小・中学校図書館のリニューアルを進めていて、平成26年度に完了します。専属の図書館司書を全校に配置し、魅力的な空間づくりをしているほか、25年度からは教育委員会に配属された学校図書館スーパーバイザーが各校を回り、経験豊かな助言で図書館教育の充実を進めています。学校図書館にやってくる児童・生徒が大幅に増え、いつも活気にあふれています。



ここに注目

不登校・いじめ問題への取り組み

不登校を含む様々な相談に、特別相談員、心理カウンセラー（臨床心理士）、相談員、スクールソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士）、専門相談員などが丁寧に対応しています。いじめの根絶を目指し、教職員の研修を充実させ、学校を支援するとともに、いじめ暴力行為防止ポスターコンクールを通して、子どもたち自身の意識を高めています。また、市民に参加を呼びかけ、不登校やいじめを考えるフォーラムを毎年行っています。



平成25年度
のポスターコンクール
入賞作品

個別目標 2-1 子どもの健康と安全を守る

めざす成果 1 子どもの心身の健康が保たれている

妊婦健康診査事業、予防接種事業、学校給食食育推進事業など

めざす成果 2 子どもの人権と安全な生活環境が守られている

青少年相談・街頭補導事業、児童生徒安全対策事業など

個別目標 2-2 子どもの生きる力を育む

めざす成果 1 子どもが夢や目標をもって学んでいる

小・中学校図書館教育推進事業、小・中学校地域教育力活用推進事業など

めざす成果 2 不登校やいじめの問題が少なくなっている

いじめ・不登校等対策事業、不登校児童生徒援助事業など

めざす成果 3 子どもが個性・能力にあった教育を受けている

教育用コンピュータ整備事業、特別支援教育推進事業、外国人児童生徒教育推進事業など

めざす成果 4 子どもが様々な体験をしながら育っている

放課後子ども教室管理運営事業、こども体験事業、青少年育成事業など

個別目標 2-3 子どもを産み育てやすい環境をつくる

めざす成果 1 安心して子育てをしている

不妊・不育症治療費助成事業、小児医療費助成事業、子育て支援センター運営事業など

めざす成果 2 働きながら子育てができている

保育事業、民間認可保育所運営支援事業、病児保育事業、放課後児童クラブ事業など

ここに注目

～子どもを望む夫婦をサポート～
不妊、不育症の治療費を助成しています

市では、少子化対策を目的とし、不妊症（妊娠を希望して2年以上夫婦生活を行っていても、妊娠をしない状態）や不育症（妊娠しても流産や死産などを2回以上繰り返し、子どもを授かることができない状態）の治療費の一部を助成しています。

- 一般不妊治療
（タイミング療法、薬物療法、人工授精など）
費助成
- 特定不妊治療
（体外受精、顕微授精）費助成
- 専門の医療機関において受けた
不育症治療費助成



ここに注目

病児保育室、新たな保育施設の開設で、働く保護者をバックアップ

市では、増え続ける待機児童の解消を図るため、民間認可保育所の整備等を行うことにより待機児童ゼロを目指し、働きながら子育てができる環境整備に努めています。また、児童が病期中または病気の回復期にあり、保護者が就労している等の理由で自宅での保育が困難な場合、児童を一時的に保育する病児保育室「ぼかぼか」を市立病院の敷地内に新たに整備し、子育て家庭を支援しています。



やまなし市病児保育室「ぼかぼか」

安全と安心が 感じられるまち

日常のあらゆる場面で安全、安心を確保することは、市民生活を送るために不可欠な条件です。そのために、犯罪、交通事故、消費生活上のトラブルなどに的確な対策を講じ、これらを軽減していくことが必要です。

いつ発生するのか分からない自然災害に対しては、建物の防災性を高め、安全な避難場所や避難路の確保、治水対策など、災害に強いまちづくりを進めるとともに、危機管理体制の充実を図ります。さらに、市民一人ひとりが適切に判断、行動できるよう、防災意識を醸成するための取り組みを充実していきます。

また、厚木基地に関わる航空機の騒音、墜落事故の不安は、長年にわたって市民生活に影響を及ぼしてきました。これらの解決についても粘り強く取り組んでいきます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、日常時だけでなく災害時においても市民の生命や財産を守り、安全と安心が感じられるまちづくりを推進します。



ここに注目

スタンドパイプで街の火災を防ぐ

「スタンドパイプ消火資機材」は消火栓及び排水栓から直接ホースを伸ばし、栓の圧力のみで放水ができることから、消火資機材としては非常に軽量でコンパクトな資機材となっています。従来のバケツリレーや消火器とは違い、水を継続的に出すことができ、放水も遠くまで届くため、初期消火及び延焼防止活動に有効なものです。市では、この資機材を市内の自主防災組織へ配備すると共に、市内各所へ設置し大震災時の同時多発火災へ対応する防災環境を整えていきます。



ここに注目

備えて安心「携帯トイレ」

災害時において、トイレの問題は、食料や飲料水と同様に重要です。非常時であっても、トイレは我慢できるものではありません。市では地震等の大規模災害が発生した場合のトイレ対策として「携帯トイレ」の備蓄を始めました。携帯トイレは、ビニール袋内の排泄物を消臭・凝固するものです。密封したビニール袋は市が可燃ゴミとして回収します。自宅や避難所の便器でも使用できます。自治会、自主防災会では、「携帯トイレ」の備蓄が進められていますが、各ご家庭でも、大規模災害に備え、「携帯トイレ」を備蓄しましょう。



ここに注目

AEDを、いつでも、どこでも

日本で、心臓突然死で亡くなる方は年間約6万人いますが、心臓がけいれんしている時に、いち早く電気ショックを施すと、助かる可能性が2倍近くも上がるといわれています。市ではそのような緊急事態に備えるため市内の24時間営業のコンビニエンスストアや郵便局、公共施設



等約300箇所にAEDを設置しています。また、心肺蘇生法やAEDの使用方法をより多くの市民に広めるため救命講習会を実施し、AEDをいつでもどこでも使える環境を整備しています。

個別目標 3-1 災害への対応力を高める

めざす成果 1

災害に対して自ら備えをしている

自主防災組織支援事業、要援護者支援対策ネットワーク事業、建築物の耐震化促進事業など

めざす成果 2

防災・減災のためのしくみが整っている

防災備蓄品等整備事業、災害対策本部運営事業、防災行政無線（固定系）整備事業など

めざす成果 3

都市の防災機能が充実している

河川維持管理事業、雨水管整備事業、道路橋改修事業など

めざす成果 4

十分な消防力が整っている

消火活動事業、消防活動用資機材整備事業、通信指令装置維持管理事務など

個別目標 3-2 生活の安全性を高める

めざす成果 1

犯罪の不安を感じることなく暮らしている

街頭防犯カメラ整備事業、防犯灯整備支援事業、地域防犯活動推進事業など

めざす成果 2

交通事故の不安を感じることなく暮らしている

交通安全啓発事業、歩道セーフティーアップ事業、まちぐるみ安全点検事業など

めざす成果 3

安心して消費生活を送っている

消費生活相談事業、消費者啓発事業、市民相談支援事業など

個別目標 3-3 航空機による被害を解消する

めざす成果 1

航空機による被害のない生活を送っている

基地対策渉外・要請等活動事業、騒音測定事業など

注目

～街の安全を見守ります～
街頭防犯カメラ、
青色防犯パトロール

街頭防犯カメラは、犯罪抑止効果が高く、市民の体感治安の向上を図れることから、駅前広場や大規模公園のほか、子どもの安全対策を強化するため、小学校通学路などにも設置を進めています。また、青色防犯パトロールカーは、広い範囲を効果的にパトロールできることから、市が所有している車（公用車）約100台に青色回転灯を装備し、青色防犯パトロールを実施しています。今後も、犯罪を未然に防ぎ、市民にとって安全と安心が感じられるまちづくりを進めていきます。



注目

基地問題の解決に
取り組んでいます

本市では、米海軍と海上自衛隊が使用する飛行場として厚木基地が所在することにより、航空機騒音や事故への不安など、市民生活へ多大な影響が生じています。また、広大な施設は市街地を分断し、基地周辺では建築物の高さが制限されるなど、街づくりへの影響も計り知れません。航空機騒音の主な原因である空母艦載機が2017年頃までに移駐すると示されるなか、今後も市単独の取り組みはもとより、市民、議会、行政の代表から構成される大和市基地対策協議会による国への要請や、神奈川県、厚木基地周辺市と協力した活動など、基地問題の解決に向け、様々な取り組みを進めていきます。



がいのしょう ぼうせいかつどう
外務省での要請活動

地球の資源には限りがあります。これまで人々は、大量生産、大量消費、大量廃棄を行ってきましたが、その結果、資源の枯渇や環境汚染などを引き起こし、今ではこの問題は地球規模へと拡大しています。特に、地球温暖化の防止については、行政だけでなく、市民一人ひとりや事業者が積極的に取り組まなければならない課題です。

大和市は、水や空気をきれいにし、ごみの減量化、資源化を進めるとともに環境教育を推進するなど、環境への負荷軽減に配慮した取り組みを今まで以上に積み重ねていきます。

また、緑は生活にうるおいを与え、その保全は地球温暖化の防止にも効果的です。市内に残る貴重な緑地や農地を適切に守っていくとともに、まちの中に身近な緑を増やしていきます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、環境への負荷を減らし、緑を大切にする、環境を守り育てるまちづくりを推進します。



ここに注目

～資源回収は、「ごみを減らす」だけじゃない～

使用済小型家電を回収しています

市では、循環型社会の実現に向け、排出されたごみ及び資源物について可能な限りリサイクルに努めています。都市鉱山と呼ばれている携帯電話やPHS、デジタルカメラなどの使用済小型家電に含まれている有用金属（金や銅、



レアメタル等)を資源化するため、市内公共施設に回収ボックスを設置し、家庭で不要になった使用済小型家電を回収し、国が認定した事業者に引渡して適正に有用金属を資源化しています。

ここに注目

太陽光、太陽熱を利用してエコな生活を

太陽光・太陽熱利用システムを導入する方に対し補助制度を実施しています。

太陽光発電は太陽光を直接電気に変えるため、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しません。発電容量3kWの太陽光発電を設置すると、年間約1400kgの二酸化炭素を削減できます（平成25年時点）。また、太陽熱温水器を設置することで、都市ガス換算で年間約400kgの二酸化炭素を削減できます（平成25年時点）。本制度を利用して、太陽光・太陽熱利用システムを導入し、地球温暖化を防止するエコな生活を心がけてみませんか？



自然観察センター・しらかしのいえに設置した太陽光パネル

個別目標 4-1 地球にやさしく活動する

めざす成果 1

二酸化炭素の排出量が削減されている



環境意識啓発事業、太陽光発電等推進事業、公共施設省エネ推進施設整備事業など

めざす成果 2

ごみの減量化、資源化が進んでいる



ごみ減量化推進事業、資源分別回収推進支援事業、焼却灰等有効利用事業、塵芥収集事業など

めざす成果 3

ごみのない清潔なまちが維持されている



大和市クリーンキャンペーン事業、路上喫煙防止対策事業、不法投棄物未然防止事業など

個別目標 4-2 水や空気をきれいにする

めざす成果 1

河川の水質が保たれている



下水道整備推進事務、下水道イメージアップ事業、汚水管整備事業など

めざす成果 2

生活を脅かす環境要因が改善されている



公害対策調査事業、公害防止啓発・指導事業など

個別目標 4-3 まちの緑を豊かにする

めざす成果 1

緑地が保全され、まちの中の緑化が進んでいる



大規模緑地整備事業、記念樹植樹事業、緑化推進支援事業など

めざす成果 2

身近な農地が大切にされている



農地管理事業、市民農園運営事業、ふれあい農園支援事業など

ここに注目 ルールを守って 気持ちの良いまちに

市では、燃やせるごみ、燃やせないごみについて、有料指定袋の導入、戸別収集を行い、ごみの減量化に努めています。しかし、ルール違反や不法投棄も見受けられます。市内全域での監視パトロールや市民、事業者を対象とした「夏休み親子環境教室」「環境保全講習会」などの啓発活動を行うとともに、年間を通してクリーンキャンペーンを実施するなど、市民一人ひとりの自発的な清掃活動への行動を促すことで快適な生活環境づくりを推進していきます。



ここに注目 市民農園で収穫の喜びを

市民の方に広く農業に親しんでいただけるよう、遊休農地を利用した市民農園を設置しています。「収穫の喜びが味わえる」「毎日が健康に過ごせる」「自然とふれあえる」等理由は様々ですが、多くの方が市民農園を利用しています。みどりの保全や農地の保全に役立つとともに、野菜や花の栽培を通じての交流や農業に対する理解を深めていただくこともできることから、皆様のご参加をお待ちしています。



快適な都市空間が 整うまち

市民が生き生きと暮らし、活動するためには、まちの快適さと利便性を高める必要があります。計画的な市街地や道路交通網の整備を進め、公園など身近にゆとりのある空間を配置するとともに、景観に配慮した良好なまち並みを形成します。その結果、都市としての魅力が高まり、市民のまちへの誇りと愛着が生まれます。

また、高齢者や障がいのある人も含めて、すべての人が安心して移動し、快適に生活できるように、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進めます。

大和市は「健康創造都市」の実現に向けて、地域の特性を活かし、快適な都市空間が整うまちづくりを推進します。



ここに注目

大和駅周辺に、新たなランドマークが出現

市では、中心市街地である大和駅周辺地区の防災性の向上と、プロムナードを中心とした回遊性の高い街づくりをすすめるため、組合施行である大和駅東側第4地区市街地再開発事業を支援しています。計画中の再開発ビルには、芸術文化ホールをはじめとして図書館、生涯学習センター、子育て支援施設などを駅至近に整備することで、多くの方に親しまれる大和市の文化創造拠点として、新たなシンボルを創出する予定です。



ここに注目

ゆとりの森でくつろぎのひとときを

ゆとりの森は、スポーツとレクリエーションの場として厚木基地の南側で整備中の公園です。遊具がいっぱいのわんぱく広場、こどものサッカーができる芝生グラウンド、ゆったりくつろげる芝生の広場、売店や会議室のある仲良しプラザ等にくわえ、平成26年度にはテニスコート、中規模多目的スポーツ広場、バーベキュー広場等がオープンする予定です。今後も平成29年の全面オープンを目指し整備を進めていきます。



個別目標 5-1 快適な都市の基盤をつくる

めざす成果 1

市街地の整備が計画的に進んでいる

めざす成果 2

良好なまち並みが形成されている

めざす成果 3

道路や公園を快適に利用している

▶ やまとえきひがわだい ちく し がいち さいかいはつ し えんじぎょう
大和駅東側第4地区市街地再開発支援事業、
土地区画整理支援事業など

▶ けいけいけいせいしんじぎょう けんちくかくにんじ あ
景観形成推進事業、建築確認事務、
地域・地区街づくり支援事業など

▶ どうろ ほそう ほしゅうじぎょう どうろ あい こけいはつ しぎょう
道路舗装補修事業、道路の愛護啓発事業、
公園維持管理事業、ゆとりの森整備事業など

個別目標 5-2 移動しやすい都市をつくる

めざす成果 1

地域交通の利便性が向上している

めざす成果 2

自転車道を快適に利用している

▶ コミュニティバス運行事業、
地域公共交通施策事業など

▶ じてんしゃ りようかんきようすいしんじぎょう
自転車利用環境推進事業、
放置自転車対策事業など

注目 コミュニティバスで 住宅街もスィスイ



公共交通の利便性を向上するため、平成14年度からコミュニティバス「のろっと」を北部と南部の2ルートで運行しています。それに加えて、平成26年度から、新たに中央林間西側、相模大塚、深見、桜ヶ丘の各地域へ運行を拡大します。新たなコミュニティバスは、これまで運行できなかった狭い道路を通行し、公共施設や病院などへの移動手段として、多くの方にご利用いただけるよう、日常生活の様々な場面を考慮して運行ルートを設定します。市では、今後も移動が楽しくなる街づくりを推進していきます。



平成25年度には、運行地域の拡大に向けて実験運行を行いました。

注目 自転車通行帯とナビマーク

市では、平成24年に「やまと自転車憲章」を定め、自転車を有効に活用し、一人ひとりが健やかで豊かな生活を送ることができるまちを目指しています。

より安全で快適に移動できるように、自転車通行帯として青色のカラー舗装を行い、狭い道路ではナビマークを表示して、歩行者と自転車の分離を促す取り組みを行っています。今後さらに、自転車走行空間のネットワーク化を図り、すべての人が安心して移動し、快適に生活できる環境づくりを推進します。



自転車通行帯

基本目標 6

豊かな心を育むまち

学ぶことや創ることの喜び、スポーツで身体を動かしたときの爽快感や充実感、美しいものに触れたときの感動は、人々の心にゆとりとうるおいをもたらします。

大和市では、次代を担う子どもから高齢者まで、多くの市民が生涯学習やスポーツに親しみ、芸術、文化活動を楽しんでいます。これらの活動は個人の生活の質を向上させるばかりでなく、心身の健康とも密接な関わりがあるといわれています。

また、芸術、文化活動の高まりは、これまで築きあげてきた歴史と固有の文化とともに、大和の新しい文化を形づくり、市民の創造性と豊かな感性を育みます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、生涯学習やスポーツ、芸術、文化活動を一層活発にしていき、豊かな心を育むまちづくりを推進します。



ここに注目

あらゆる世代の読書活動を応援しています

本市の目指す「健康都市」の実現に向け、「健康」をテーマに健康コーナーやカフェコーナーなど、あらゆる世代がより快適に利用できるよう、従来の枠



ブックスタート：4ヵ月児健康診査での読み聞かせ

にとらわれない新しい図書館を大和駅東側第4地区に整備します。また、こどもたちが読書に親しむ環境を整えるため、ブックスタートやこどもの年齢に適したブックリスト、読書ノートの配布など、家庭での読書「家読（うちどく）」を進めます。

ここに注目

芸術文化ホールを市民の文化芸術活動の拠点に

大和駅近くに待望の「芸術文化ホール」が平成28年度に誕生します。プロのアーティストによる公演から市民の発表会まで幅広い催しに対応できるホールは、メインホールが約1000席、サブホールが約300席。どちらも、ゆったりと芸術の世界にひたれる、格調高い空間となっています。また、さまざまな展示に使えるギャラリーは、用途にあわせて分割し、自由に展示レイアウトを変更できるのが魅力です。開館後は、文化・芸術の素晴らしさ、楽しさを市民の皆さまに盛りだくさんでお届けいたします。どうぞご期待ください。

個別目標 6-1 いつでも学べる場と機会を充実する

めざす成果 1

生涯学習に取り組む人が
増えている

生涯学習情報提供・学習相談事業、
講座等開催事業、地域文化振興事業など

めざす成果 2

読書をする人が増えている

読書活動推進事業、図書資料貸出事業、
図書ボランティア養成講座事業など

個別目標 6-2 地域のスポーツ活動を推進する

めざす成果 1

スポーツを楽しむ人が
増えている

地域スポーツ推進事業、スポーツ大会開催事業、
女子サッカー推進事業など

個別目標 6-3 大和の文化を守り育てる

めざす成果 1

多様な文化や芸術を楽しむ人が
増えている

文化芸術振興事業、美術鑑賞推進事業、
文化創造担い手育成事業など

めざす成果 2

郷土の文化がしっかりと
引き継がれている

地域歴史資料整理・保存事業、文化財普及啓発事業、
つる舞の里歴史資料館運営事業など

ここに 注目

広がる！ 女子サッカーの輪

本市はこれまで「なでしこ JAPAN」
(女子サッカー日本代表)で活躍する優
れた選手を輩出してきました。

2011年ドイツワールドカップ優勝の
際は、スポーツの生み出す感動や連帯感
の素晴らしさを伝えるために、市を挙げ
て、パブリックビューイングや凱旋パ
レードなどの取り組みを実施しました。

「女子サッカーのまち やまと」とい
う新しいイメージと魅力を創出するた
めに、なでしこ JAPAN や、OG (なで
しこレジェンド) を招いてのイベント、
女子小中学生の大会 (大和なでしこカ
ップ) 等を開催します。

女子サッカーを中心とした地域スポ
ーツの推進を図り、地域コミュニティの
活性化、家族及び世代間の交流を通じて、
地域の絆も創出していきます。



やまと
大和なでしこカップ
2013 (U-15)

にほんじょし だいりょう
日本女子代表 OG が集結・
なでしこレジェンド in 大和
(2013)

基本目標 7

市民の活力があふれるまち

大和市の人口推移は微増の状態にありますが、将来は、減少傾向に転じることが見込まれ、市全体の活力の低下につながることも考えられます。こうした中で、今後も活力を維持し、高めていくためには、人々の交流や活動を活発にしていくことが必要です。

人々がお互いを認め合い尊重し合う中で、良好な人間関係が形成されることは、地域の活力を高めていくために非常に重要です。大和市には多くの外国人が居住しており、国籍を越えた活発な交流による相互理解を深めていくことも大切です。

商店街や企業などの活発な経済活動は、人々を呼び込み、地域に活気とにぎわいをもたらします。また、大和市の魅力を内外にアピールすることは、さらなる交流人口の拡大につながります。

さらに、市民一人ひとりが地域活動や市民活動に参加し、各々の力を出し合うことで、地域の活力が高まります。

大和市は「健康創造都市」の実現に向けて、人と人とのつながりを広げ、様々な活動が行われる、市民の活力があふれるまちづくりを推進します。



注目 フィルムコミッションとヤマトンで、大和市を全国区に

市では、平成23年9月にドラマや映画、CMなどの撮影を支援する「さがみの国大和フィルムコミッション」を大和市イベント観光協会内に設立しました。撮影の受入窓口を一本化して、ロケの誘致を積極的に行うことで、大和市を全国にPRしています。



撮影の様子

また、市内で開催されるイベントや大和市の魅力を広く発信するため、イベントキャラクター「ヤマトン」が様々な催しに参加しています。



市は、これからも活発なシティセールスを行うことで大和市の魅力を内外にアピールし、活気あふれるまちづくりを進めていきます。

泉の森とヤマトン

注目 地場で育った農産物をお手元に

大和市はまちの中に農地があることから、生産者と消費者の距離が近く、市内各所にある直売所や、引地台公園の「朝霧市」、中央林間の「タヤけ市」、大和駅プロムナードの「おさんぽマーケット」などで、新鮮な農産物を購入することができ、大変喜ばれています。



また、大和で採れたさつまいもを使用した大和市特産品の芋焼酎「和み」の推進や、神奈川県が推奨する津久井在来大豆を



市内で栽培し、学校給食で食材として利用するなど、地産地消の推進を図っています。

個別目標 7-1 互いに認め合う社会をつくる

めざす成果 1 あらゆる差別がなくすべての人が互いの人権を尊重し合っている

人権啓発事業、人権相談支援事業、
婦人保護対策事業など

めざす成果 2 男女共同参画が実感できている

男女共同参画意識啓発事業、
男女共同参画プラン策定・管理事業など

めざす成果 3 地域の中で多文化共生が行われている

国際化推進事業、海外友好都市交流事業、
平和都市推進事業など

個別目標 7-2 にぎわいのある地域をつくる

めざす成果 1 商店街や企業が活発に活動している

商業振興活性化事業、企業活動促進支援事業、
中小企業事業資金支援事業など

めざす成果 2 市内で働く人が増え、生き生きと働いている

若年者就労支援事業、障がい者雇用促進支援
事業、勤労者サービスセンター支援事業など

めざす成果 3 地域農産物の消費が安定的に行われている

農産物消費拡大推進事業、市民朝霧市支援事業、
農業近代化等支援事業など

めざす成果 4 「大和」に多くの人々が訪れている

観光促進支援事業、大和市民まつり支援事業など

個別目標 7-3 地域活動・市民活動を活発にする

めざす成果 1 地域の活動が活発に行われている

自治会活動推進事業、自治会館建設支援事業、
コミュニティセンター管理運営事業など

めざす成果 2 公共を担う市民や事業者が増えている

市民活動推進事業、
市民活動センター管理運営事業など

注目 やまと世界料理の屋台村で 各国料理に舌鼓

大和市には、ペルー、ブラジルなどの南米各国、中国、韓国、フィリピン、ベトナムといったアジア各国など、約70の国と地域出身の外国人市民が在住しており、身近に多様な文化と出会えます。

「やまと世界料理の屋台村」は、料理を通して多くの国々の人々と交流を深めようと、10月の最終日曜日に、大和駅東側プロムナードで開催しています。「屋台村」には世界の料理店に加えて、Y-1グランプリの上位入賞店も出店しているほか、ステージイベントもあります。みなさん、世界の食をご賞味あれ!!



めあし
召し上がれ!

注目 就職しよう! パソコンセミナー

現代社会では、就職をするために、また、就職してからもパソコンを使うことが、必須のスキルとなっています。

若年者就労支援事業の体験型パソコンセミナーでは、パソコン初心者の方を対象に、履歴書や職務経歴書の作成に始まり、実際に就職してからも役に立つような技能の習得を自指しています。セミナーの日程には、キャリアカウンセラーによる個別相談もあり、幅広い年齢層の皆さんに数多く受講していただいています。



目標の実現に向けて

先行きが不透明な経済状況、急速な高齢者の人口増加と少子化の進行など、近年の地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。また、市民ニーズは多様化する傾向にあり、今後、こうした様々な行政需要に効果的に対応していくためには、市民に信頼される、質の高い行政経営が求められています。

大和市は、市民の視点にたった「分かりやすい行政経営」、時代の変化に迅速に対応する「即応性の高い行政経営」、職員の意識改革から始まる「人財を活かした行政経営」を行政経営の方針として、目標の実現に向けて取り組んでいます。



©1993 YAMATO CITY

大和市マスコット
キャラクター
「やまとふえありー」

注目 市政情報 PR ボードで市のトピックスをお知らせ

通勤、通学やお買い物の途中に見いただけるよう、市内各駅や大型商業施設などに、「市政情報 PR ボード」を設置しています。掲示板上部のオレンジ色のタイトルシートが目印。市が開催する催しや注目していただきたいトピックスなどをポスターにして随時掲示中です。今後も、市内中学校の校門などに設置を進めていく予定です。ぜひごらんください。



▲オレンジ色のタイトルシートが目印

◀高座渋谷駅西口の市政情報 PR ボード

注目 まほろば市民債で、まちづくり

大和市は、「まほろば市民債」を発行し、市民の皆さんからお預かりした資金を公共施設の整備に役立てています。平成18年度から毎年発行しており、平成25年度までにお預かりした19億2千万円を、学校や医療施設、公園などを整備するための費用にあてています。「まほろば市民債」の発行により、財政面からも市民が参加するまちづくりが進められています。

大和小学校屋内運動場
(平成22年度対象事業)



方針 1 分かりやすい行政経営

● 相互理解に基づく行政経営

市政等 PR 事業、情報公開推進事業、市民参加推進事業、議会对応事務など

● 目標設定による行政経営

総合計画進行管理事業、健康都市推進事業、行政評価実施事業など

方針 2 即応性の高い行政経営

● 健全な財政運営

予算編成事務、自主財源強化推進事業、収納サービス向上推進事業など

● 機能的な組織づくり

地方分権推進事業、行政改革推進事業、IT 推進事業など

● 公共施設・公有資産の適正管理

普通財産管理運用事業、保全計画運営事務など

方針 3 人財を活かした行政経営

● 職員の能力向上

一般研修事業、職員自己啓発支援事業、職員健康管理事業など

● 職員の意欲を高める職員配置

人事評価・配置事務、人事施策の再構築事務

ここに注目

健康都市連合 ～理事としての活動～

健康都市連合とは、健康都市の取り組みを実践する西太平洋地域 10 国の都市、団体、機関等の国際ネットワークです。

本市は平成 20 年に加盟しており、平成 24 年にオーストラリアで開催された国際大会で、日本の代表として連合の理事に選出されました。

理事会では、2 年ごとに開催される国際大会の準備など、連合の運営に関する決定を担っています。また、理事会や国際大会の場において、本市と日本の健康都市に関する取り組みを発信しており、高い関心が寄せられています。



第 5 回健康都市連合国際大会の様子
(平成 24 年 10 月、オーストラリア・ブリスベン市)

「健康都市 やまと」宣言

健康は、日々の生活の基本であり、幸福を追求するために、とても大切なものです。

都市で生活するわたしたち市民が、生き生きと暮らすためには、保健、福祉、医療などを通じて「人の健康」を守るとともに、安全で快適な都市環境が整う「まちの健康」、人と人とのあたたかな関係に支えられる「社会の健康」を育てていくことが重要です。

大和市は、市民一人ひとりの健康な生活の実現に向けた取り組みを進め、「健康都市」を目指すことを宣言します。



健康都市シンボルマーク

平成 21 年 2 月 1 日

総合計画の構成と期間

計画の構成

第8次大和市総合計画は、大和市の将来都市像とそれを実現するための長期的な考え方を示す基本構想、これに基づいて施策の方向を示す基本計画、さらには、具体的な事業を盛り込んだ実施計画の3層構造で構成します。

計画の期間

社会の変化に迅速、かつ柔軟に対応していくためには、総合計画はできるだけ現実性のある期間を設定することが必要であるため、基本構想の期間は10年、基本計画は5年としています。

実施計画の期間は3年とし、毎年見直しを行います。

基本構想

本市の将来都市像とそれを実現するための長期的な考え方などを示します。

10年間

5年間

3年間

実施計画

めざす成果を達成するための施策の展開と具体的な事業を示します。

基本計画

基本構想に掲げた目標を実現するための個別の目標やめざす成果などを示します。

大和市のデータ

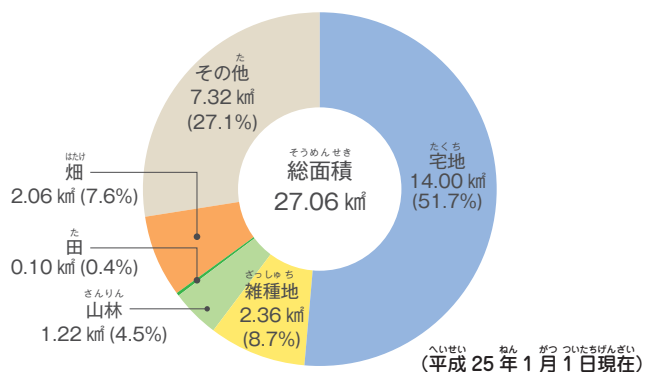
大和市は神奈川県のおおのちゅうぶに位置し、都心から40km圏内にあります。市域は南北に細長く、丘陵起伏がほとんどありません。

鉄道は市の中央部を東西に相模鉄道本線、南北に小田急江ノ島線が走り、北部には東急田園都市線が乗り入れ、市域に8駅があります。また、道路網も国道16号、246号及び467号のほか県道4線が縦横に走り、東名高速道路横浜町田インターチェンジにも近いなど、交通の利便性に恵まれています。



地勢・位置

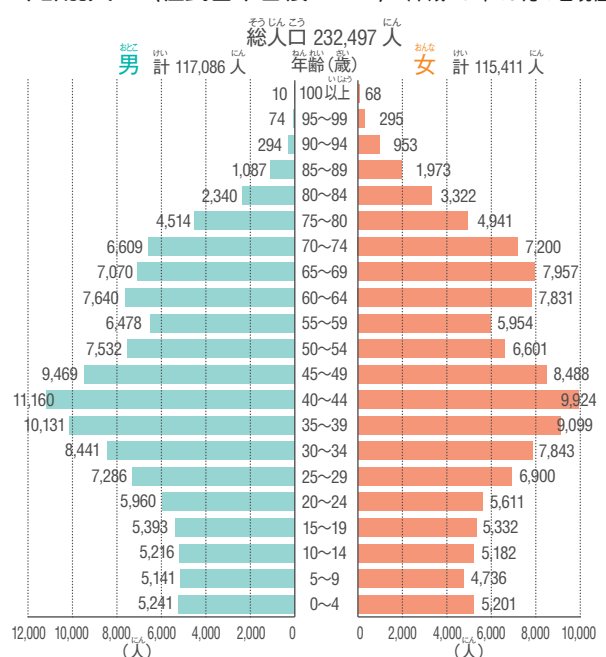
位置	海抜
極東…東経 139° 28' 50"	市役所位置…68.6m
極西…東経 139° 25' 45"	最高…90.8m
極南…北緯 35° 25' 23"	最低…28.6m
極北…北緯 35° 31' 14"	
面積…27.06km ²	東西…3.22km
	南北…9.79km



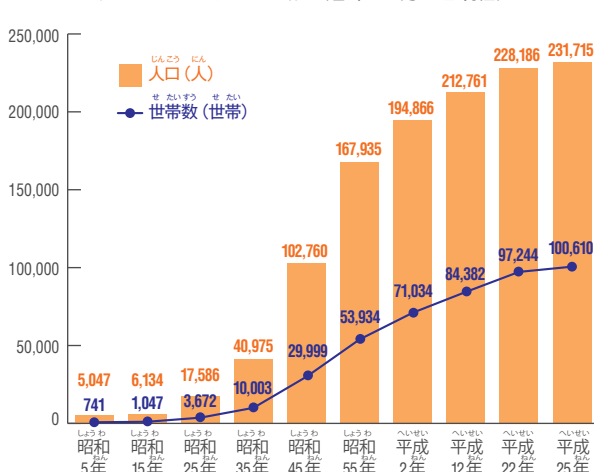
人口・世帯

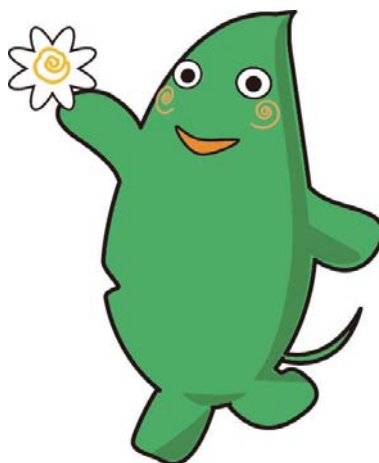
人口	231,715人	世帯数	100,610世帯
男	116,059人	人口密度	8,563人/km ²
女	115,656人		

年齢別人口 (住民基本台帳による) (平成25年10月1日現在)



人口・世帯の推移 (各年10月1日現在)





やまとし
大和市イベントキャラクター「ヤマトン」

[編集・発行]

やまとし せいさくぶ そうごうせいさく かく
大和市政策部総合政策課

〒 242-8601 やまとし しもつる ま いっちょう め ばん 1 号
TEL 046-263-1111 <http://www.city.yamato.lg.jp>

し しょう 市章

しやうり ねん がつ じつ せいでい
(昭和 28 年 11 月 3 日制定)

やくしん やまとし だい も じ ぜんたい
躍進大和市の「大」の文字の全体
を円形にかたどり、鳥の翼をひろげ
たような形は大和市将来の円満な
飛躍発展を表徴したものです。



し はな 市の花

しやうり ねん がつ じつ せいでい
(昭和 44 年 2 月 1 日制定)

の 野ぎく



し き 市の木

しやうり ねん がつ じつ せいでい
(昭和 44 年 2 月 1 日制定)

やま 山ざくら



し とり 市の鳥

へいせいがんねん がつ じつ せいでい
(平成元年 2 月 1 日制定)

オナガ



し 市のシンボルカラー

へいせいがんねん がつ じつ せいでい
(平成元年 2 月 1 日制定)

わか 若みどり

しせい しやうねん き ねん せいでい わか ぼ しんりく
市制 30 周年を記念して制定。若葉、新緑の
色「若みどり」は、将来に向けて躍進する青年
都市大和市を象徴する色として選ばれました。



ふく し ひ 福祉の日シンボルマーク

しやうり ねん がつ じつ せいでい
(昭和 51 年 10 月 15 日制定)

みつ さん くに し じやうみん じんげん わ ぼ
三つの円は国、市、住民と人間の和を、若葉は
お互いの手を表現し、手を取り合い協力してい
こうという思いが込められています。



けんこう と し 健康都市シンボルマーク

へいせい ねん がつ じつ せいでい
(平成 20 年 10 月 1 日制定)

にじ し じんひとり かがや こ せい たいやう こ こ
虹は、市民一人ひとりの輝く個性を、太陽は、個々
の力が集まる強さとあたたかさを表し、健康と
元気に満ちあふれる大和市を象徴しています。

